

第6章 おわりに

財務情報の分析を中心に短期的な企業評価をおこなっている企業評価者は、将来の成長可能性を分析すべく、上記の視点を参考に是非とも各企業の固有の強みである知的資産とそれを活用した知的資産経営の分析に取り組んで頂きたい。

また、情報の発信側である企業は、上述した企業評価者の視点に留意して知的資産経営に関する情報開示を行うことで、自社の知的資産経営の状況を企業評価者に対してより効果的・効率的に伝えることが可能となる。また、株価が過小評価されている場合には敵対的買収の対象とされるリスクが高まるが、企業が持つ実力を平時から正しく評価してもらおうという、本質的な意味での買収防衛策としても知的資産経営の開示に取り組む意義は大きい。

本調査結果を参考に、企業評価者は知的資産経営報告を評価・分析する視点を磨き、一方で企業は知的資産経営報告の開示に創意工夫を凝らし、両者が切磋琢磨しながら企業と市場との対話の活性化につなげて頂きたい。また、より一層、知的資産経営の開示と知的資産経営に対する分析が行われることを期待する。